

令和2年度 教育改善等に向けたアンケート 集計結果

令和2年度教育改善等に向けたアンケート

1. 調査の概要

1-1 調査目的

就職先企業等からみた本学卒業生への評価等を把握し、教育に関する内部質保証、教育のさらなる改善に役立てる

1-2 実施時期

2020年12月中旬～2021年1月中旬

1-3 調査対象

2018年3月～2020年3月卒業生が就職した企業・団体等

1-4 調査項目

- (1)採用時に重視すること
- (2)業務を遂行する上で必要な能力
- (3)本学卒業生の平均的な評価

1-5 調査方法

調査票を319の企業等へ配布し、郵送またはFAXにて回答を回収し、132件の回答があった

1-6 回収率

回収率は41.4%である

1-7 集計

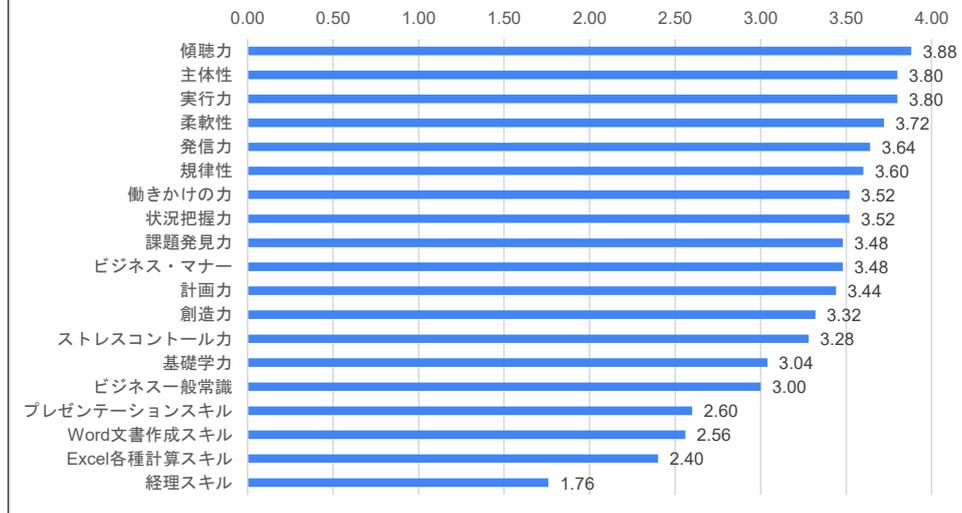
卒業生の学科別に平均値等を算出した

集計結果（抜粋）

業種 ※日本標準産業分類の大分類

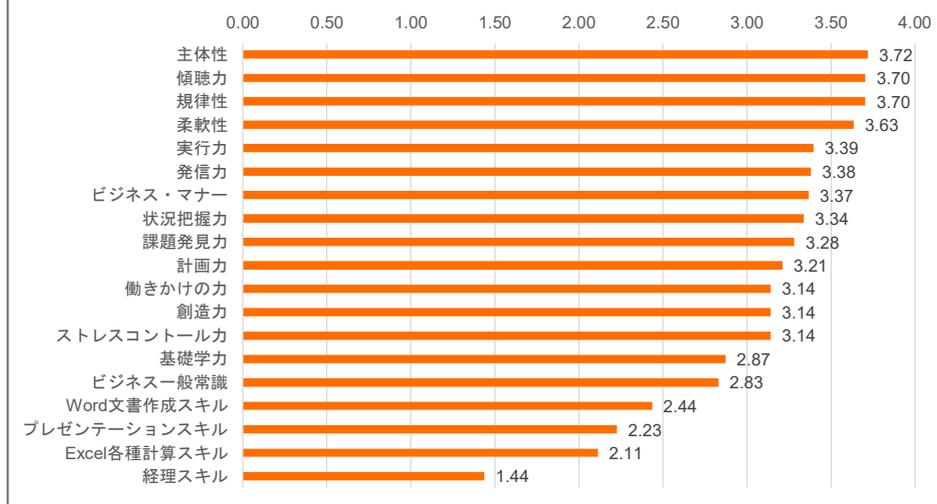
項目	回答数	割合
医療、福祉	75	57%
教育、学習支援業	22	17%
卸売業、小売業	11	8%
サービス業（他に分類されないもの）	8	6%
宿泊業、飲食サービス業	5	4%
情報通信業	5	4%
金融、保険業	2	2%
不動産業、物品賃貸業	2	2%
製造業	1	1%
複合サービス事業	1	1%
合計	132	100%

短大卒の学生を採用する時に重視すること【総合ビジネス学科】



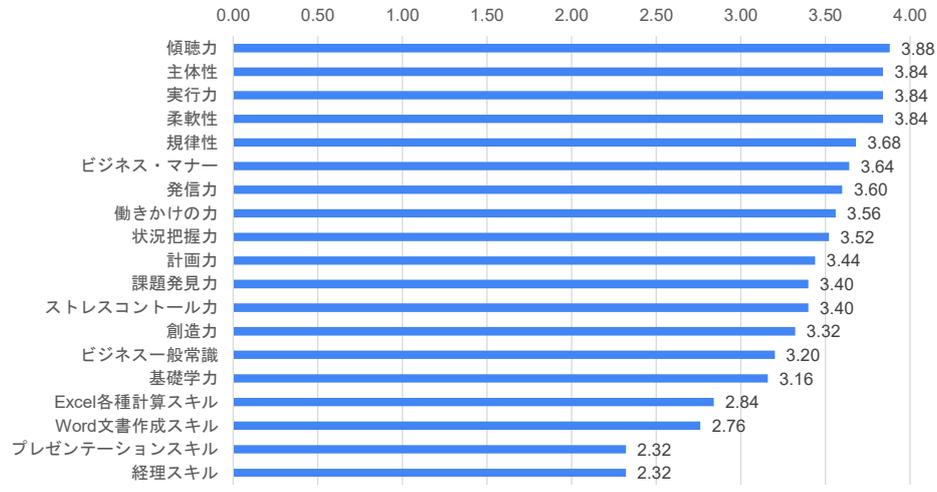
4：重視する、3：やや重視する、2：あまり重視しない、1：重視しない

短大卒の学生を採用する時に重視すること【児童教育学科】



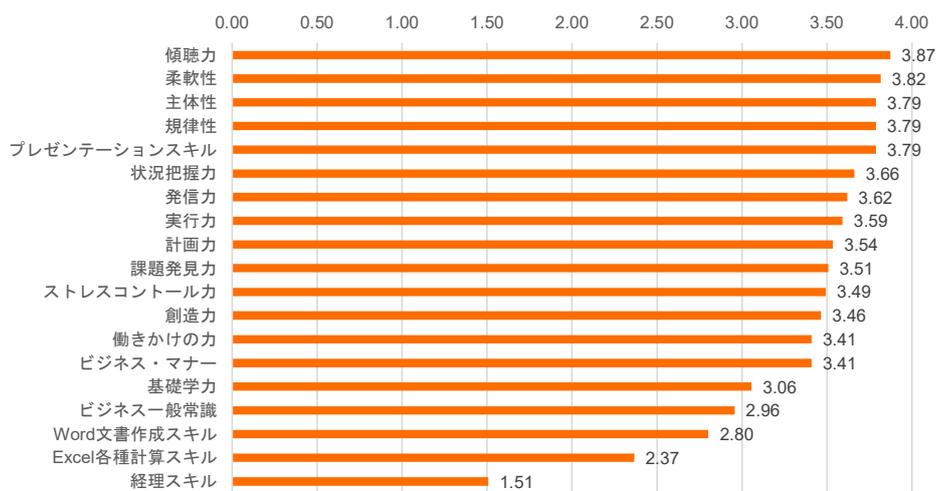
4：重視する、3：やや重視する、2：あまり重視しない、1：重視しない

業務を遂行する際に必要な能力【総合ビジネス学科】

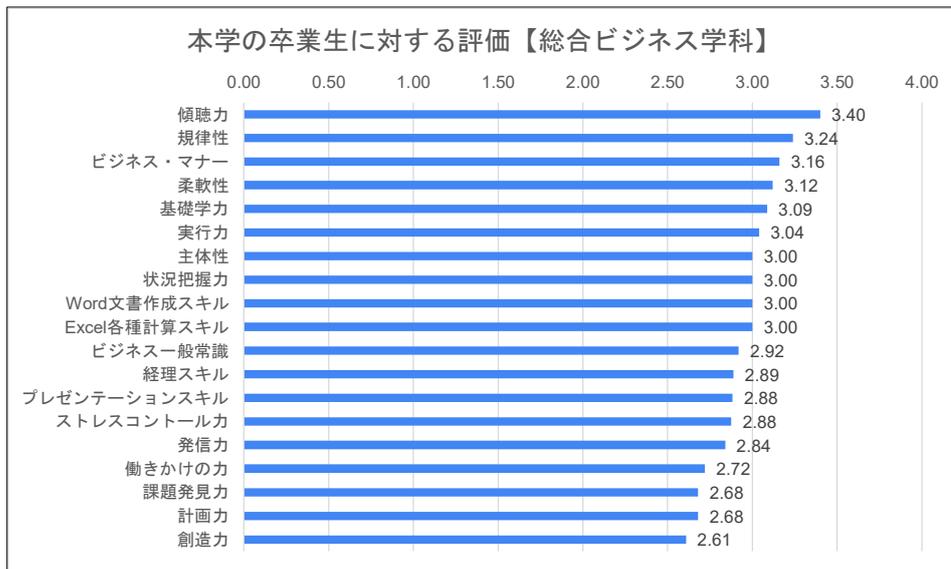


4：とても必要、3：ある程度必要、2：あまり必要でない、1：必要でない

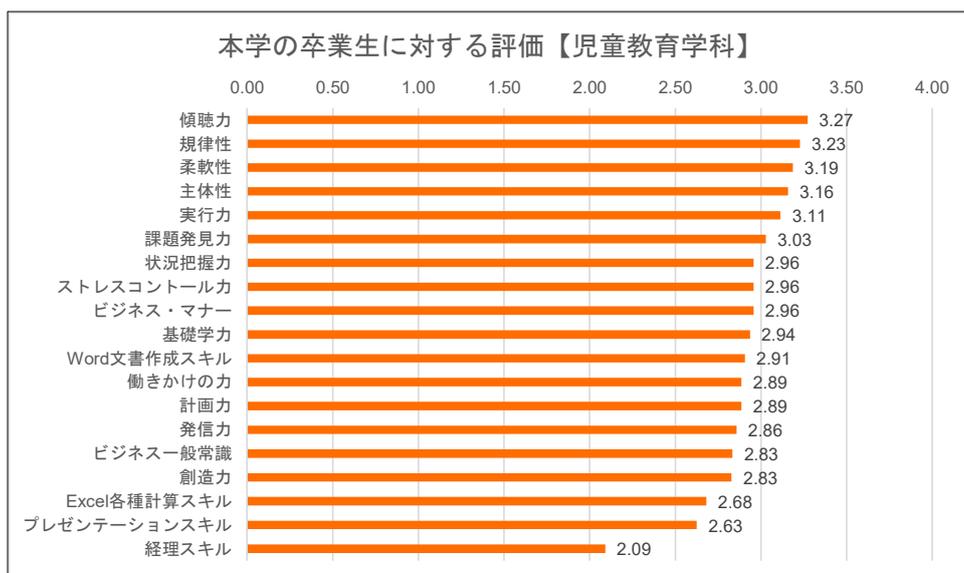
業務を遂行する際に必要な能力【児童教育学科】



4：とても必要、3：ある程度必要、2：あまり必要でない、1：必要でない



4：特に優れている、3：優れている、2：努力を要する、1：特に努力を要する、0：該当しない



4：特に優れている、3：優れている、2：努力を要する、1：特に努力を要する、0：該当しない